

朕通信符實制、改而裁可、茲之三月公布之、  
御名御璽

明治二十二年六月三日

内閣總理大臣 伊藤 博文 有明

逓信大臣 佐野 權三 敬

勅令百十二號

逓信省官制

第一条 逓信大臣の新任、逓信、航路標識及船舶海員、  
、関する事務ヲ管理ス

第二条 逓信省、總務及度量

第三条 逓信大臣官房の通則、陽之官房及地務局

逓信省、知事、事務ヲ掌ル

一 理財、國之事項

貯金局

二 會計、下控査、國之事項

三 庁舎建築、國之事項

四 物品、購買、國之事項

五 逓信及航路標識、甲別表、管理、國之事項

六 日条 逓信省、友、協、及、量

新務局

電務局

管船局

検査局

會計局

第五條 新務局、郵政、國之事項ヲ掌ル

第六條 電務局、逓信、國之事項ヲ掌ル

第七條 管船局、船舶、海員、國之事項ヲ掌ル

分八条 燻丸ら一航路標識之固元事務ヲ掌ル

分九条 倉庫ら一金錢物事ノ出納者守之固元ヲ掌ル

等ノ

分十条 郵務局長及電信局長ノ補任ニ等又ハ委任ニ等以

上トシ若シ長官及今ノ長ハ委任ニ等以

下ニ等以上トス

分十一条 追込者專任者ノ長ハ二人專任書記長ハ一人ヲ

以下定員トス

分十二条 郵務局長及電信局長ニ長ヲ置ク

分十三条 通信局長及電信局長ハ八人ヲ置ク通信局長ハ

郵便電信又ハ計量ノ事務ヲ掌ルシ若シ郵便局長

及電信局長ノ長ハ事務ヲ掌ル

通信局長ハ事務ヲ掌ル

貯金局

分十四条 逓込者ノ司檢官十人及司檢官補十一人ヲ置ク

司檢官ハ管船ノ所シ海員先人ノ試験・審問・船舶

ノ検査測量及新造船ノ工事監督ヲ掌ル司檢官補ハ

管船者ノ所シ司檢官ノ事務ヲ佐ク

司檢官ノ委任ハ司檢官補ハ利任トス

分十五条 通信局長、技師正三人技師副五人ヲ置ク

分十六条 通信局長、試補三人ヲ置ク

分十七条 通信局長、局員九十人ヲ置ク

(参考)

明治三十二年三月三十日

各省官制通則

第一條 本則中各省ノ外務省、内務省、工務省

海軍省 海軍省 司法省 文部省 農商務省 逓信省

第二章 各省大臣の其の任ノ事務及今後法律勅令之  
ニ依リ主任ノ所ニテ事務ニ付其委ニ任スヘシ  
主任ノ事務兩者以上ノ關係ニトキハ關係者大臣  
ノ間ニ協議ヲ行フ其主任ノ定メ上奏スヘシ  
大臣ノ間協議決定セザルトキハ之ヲ閣議ニ提出スヘシ  
第三章 各省大臣の其の任ノ事務ニ付法律勅令制定廢止  
及改正ノ要スルトキハ閣議ニ提出スヘシ  
第四章 各省大臣の其の任ノ事務ニ付其職務表ノ特別  
ノ委任ニ依リ法律勅令ノ範圍内ニ於テ法律勅令ヲ  
施行シ又ハ其職務表ノ保持スル為メ省令ヲ奏スルコ  
トヲ得

貯金局

第五章 各省大臣の法律勅令ノ範圍内ニ於テ其省中  
各事務及事務官ノ職務細則ヲ定ムルコトヲ得  
第六章 法律勅令ノ副署ニ有務ヲ敷奏シ内閣ノ機一列  
ニ及省令ヲ奏スルコトヲ得  
第七章 各省大臣の其の任ノ事務ニ付其職務一  
部ヲ次官ニ代理セシメ又ハ其職務一部ヲ次官ニ  
委任スルコトヲ得  
第八章 各省大臣の其の任ノ事務中ノ其事務ヲ臨時  
其職務ヲ代理セシムルコトヲ得  
第九章 各省大臣の其の任ノ事務ニ付警視總監北海道  
庁長官府縣知事ノ指令又ハ訓令ヲ下スルコトヲ得  
第十章 各省大臣の其の任ノ事務ニ付警視總監北海道  
庁長官府縣知事ノ監督ニシテ若シ警察視察官其外  
庁長官府縣知事ノ處分又ハ指令ノ違反ニ對シテ

ヲ實シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト退ムトキハ其處分  
指令ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第十九條 各省大臣ハ其部ノ官吏ヲ督シ其責任ヲ進退  
ハ之ヲ奏薦宣行シ判任官以下ハ之ヲ專行ス

右縣書記官警部長島司部長ハ進退ハ内務大臣收  
稅長ハ進退ハ大藏大臣之ヲ奏薦宣行ス

第二十條 各省大臣ハ内閣總理大臣ヲ經テ其部官吏ノ敘  
位敘免及恩給ヲ上奏スヘシ

第二十一條 各省大臣ハ毎年六月甲子前會計年終ノ功程  
ヲ具シ内閣總理大臣ヲ經テ上奏スヘシ

第二十二條 各省大臣ハ其主任ノ事務ニ付時々ノ状況ヲ  
内閣總理大臣ニ報告スヘシ

第二十三條 各省大臣ハ一週年末ニ其省ノ豫算年度額内ニ  
貯金局

於テ責任者以下特別ノ勤勞了シテ功勞シテ之ヲ官  
部ニ公録スルコトヲ得

第二十四條 各省大臣ハ法律勅令ハ定ムル所ニ從ヒ部下ノ  
官吏ヲ總裁ス

第二十五條 各省職員ノ量ヲ定ムルハ如シ

次官

局長

参事官

秘書官

書記官

試補

屬

第二十六條 各省ハ其官一人ヲ置テ其主任トス

分十七條 次官の命ヲ大臣ニ承ケ各々課ノ事務ヲ並  
行シ有務ノ全部ヲ整理スルノ責ニ任ス

分十八條 次官ハ大臣ノ命ヲ承ケ各々課ノ範圍内  
ニ於テ大臣ノ職務ヲ代理シ又ハ大臣ノ指令シル  
範圍内ニ於テ委任ノ事務ヲ處理ス

分十九條 次官ハ大臣ノ代理トシテ公文ニ署名スルコト  
ヲ得

分二十條 各課ハ大臣官房ヲ置ク  
大臣官房ハ於テ右ノ事務ヲ掌ル

一 機密文書ニ關スルコト

二 機密事務ニ關スルコト

三 官吏ノ進退身外ニ關スルコト

但各者ノ便宜ニ從ヒ他務ニ於テ處理スルコトヲ得

貯 金 局

四 大臣ノ官印及有印ノ簽守スルコト

五 其他各者官物ニ係リ特ニ官房ノ所掌ニ屬セシムル

分二十一條 各課中省務ノ全部ヲ統轄スル為メニ他務  
局ヲ置ク

他務局長ハ次官ヲ以テ之ニ充テ

他務局ニ於テ右ノ事務ヲ掌ル

一 各課ノ成案ヲ審査シ及公文ヲ起草スルコト

二 公文書款及成案文書ヲ局長齊送スルコト

三 統計報告ノ材料ヲ採輯シ統計報告ヲ調整シ

大臣ノ査閲ニ付シ官報編成ノ事項ヲ官報局ニ送

送スルコト

四 本局及中各課ノ保一切ノ公文書款ヲ檢査保存ス

コト

五其他者官物之儀ヲ控ニ依務ルノ新章ニ屬セ

シムル也

加二十二条 各者、便宜ニ依ヒ依務ルノ量カス大臣有  
者、於テ其事務ヲ掌ル下リ得

加二十三条 右者中、右務ノ分掌スル者、其ノ  
掌事務ノ各者官物ノ部ニ於テ之ヲ定ム

加二十四条 大臣官物依務ル及右ノ分掌ニ各者大臣其者  
、便宜ニ依ヒ周知ヲ行テ之ヲ定ム

加二十五条 右ノ、右長一人ヲ置テ、但シ右長ヲ置クニトテ  
要スルモノ、其者官物ノ部ニ於テ之ヲ定ム

右長ニ依テ之ヲ定ム

貯金局

右ノ部ニ於テ之ヲ定ム

右長ニ依テ之ヲ定ム

加二十六条 右長、大臣又、右長ノ命ヲ承ケ其主務ヲ掌  
ルニ及リ中、右務ノ事務ヲ指掌ス

加二十七条 右長、其主任ノ事務ニ就テ其職權ニ屬シ  
、其外、委任ヲ受ルノ事務、之ヲ依テ行ク

加二十八条 右長、其主任ノ事務ヲ依テ若シ右長ノ下  
ニ又、右長ノ下ニ於テ、大臣ノ命ニ依テ右長ノ下  
ニ於テ掌ル也

加二十九条 右ノ、右長ニ依テ之ヲ定ム大臣又、以テ、諮詢ニ應  
ジ意見ヲ呈ス、及審議ニ出席ス

前條ノ外、右ノ、右長ノ下ニ於テ、右長ニ依テ之ヲ定ム  
右ノ、右長ニ依テ之ヲ定ム

分三十一條 考年考其者、便宜、証心而保、事務  
ヲ兼任シ、其ノ、臨時命、或ハ其事務ヲ助ルコト  
アルニ

分三十二條 秘書官、委任トス大臣、専任ニテ、事務ノ事  
務ヲ掌ル

秘書官、二人ヲ以テ定ムトス  
分三十三條 秘書官、臨時命、或ハ其事務ヲ助ルコト  
コトアルニ

分三十四條 秘書官、委任トス大臣、又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

貯金局

分三十五條 試補、定期召大臣ノ、指揮官ニシテ、試補、事務ヲ  
務ヲ掌ル、但シ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

分三十六條 其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

分三十七條 其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

分三十八條 其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

分三十九條 其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大  
臣有、事務ヲ又ハ、其者、命、或ハ大

右者大臣の臨時、法外に發行し、利便及傳信豫算  
 定額内、於て存員ノ費用ハ、コトヲ得  
 卅三十九條 本則ニ據ルニ、外者特別ノ職至リ  
 是レトシテ、要スル者官制ニ即テ、就テ之ヲ定ム  
 卅四條 右者中特ニ補助員ノ要スル者、又ハ、同員ノ要ス  
 ルトキハ、毎次狀ヲ呈シテ、同僚ニ呈シ、裁可ヲ得之レ

貯金局